

貯 法	気密容器	承認指令書番号	農林水産省指令 17 消安第 2322 号
		販売開始	1990 年 10 月

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。  
また、本書を必要なときに参照できるように大切に保管してください。

動物用医薬品

カルシウム・リン注射剤

# ネオニューリン注

## NEO NEWLIN INJ.

本剤は、カルシウムとリンを有効成分とする注射剤です。  
産前・産後起立不能症牛、乳熱牛の血清は、低カルシウムであるばかりではなく、多くは低リンでもあることがわかっています。この低リン症状は、カルシウム剤の注射によりカルシウム濃度が正常になるとともに元に戻ることも多いのですが、なかなか正常にならないものも多いのです。  
これらの牛は、カルシウムの注射だけでは治癒転機が遅れます。産前・産後起立不能症、乳熱の牛には、カルシウムと共にリンの補給をすることも大切です。  
本剤 100 mL 中には、カルシウム約 1.3 g、リン約 1 g が含まれています。

### 【成分及び分量】

本剤 1 mL 中  
グリセロリン酸カルシウム…………… 70 mg  
ブドウ糖…………… 50 mg

### 【効能又は効果】

牛：低カルシウム血症、低リン血症、産前・産後起立不能症

### 【用法及び用量】

体重 1 kg 当たり、下記量を 1 回量とし、静脈内に注射する。  
牛：0.2 ～ 1 mL

### 【使用上の注意】

#### （基本的事項）

1. 守らなければならないこと  
（一般的注意）
  - ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
  - ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
  - ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- （取扱い及び廃棄のための注意）
  - ・本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
  - ・本剤は他の薬剤と混合して使用しないこと。
  - ・開封後は速やかに使用すること。
  - ・本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
  - ・プラスチック容器は、液漏れの原因になるので鋭利なもの等で傷つけないこと。
  - ・プラスチック容器に注射針を刺すときは、ゴム栓の刻印部にまっすぐに刺通すること。斜めに刺すと、側壁を刺通し液漏れの原因になることがあるので注意すること。
  - ・プラスチック容器に穴が開いていたり、液漏れが認められた場合は使用しないこと。
  - ・本剤は寒冷時、白色沈殿物を生じることがあるので、なるべく温暖な場所に貯蔵することが望ましい。白色沈殿物が生じた場合は、30℃～40℃に加温又は強振して、溶解したことを確認の上、使用すること。
  - ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
  - ・注射針は必ず 1 頭ごとに取りかえること。
  - ・小児の手の届かないところに保管すること。
  - ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
  - ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
  - ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
  - ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。
2. 使用に際して気を付けること  
（使用者に対する注意）
  - ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

- ・本剤が誤って眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗淨やうがい等を行い医師の診察を受けること。
- (牛に関する注意)
- ・本剤は必ず静脈内に使用し、注射時に注射針が血管内に確実に入っていることを確認し、ゆるやかに投与すること。
  - ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (取扱い上の注意)
- ・寒冷時に大量に静脈内投与する場合には、本剤を体温程度に温めること。

(専門的事項)

① 重要な基本的注意

- ・本剤の投与量は血清カルシウム量、血清リン量を調べてから決定することが望ましい。
- ・高用量の静脈内投与では、心機能に注意し、異常が認められた場合、一時投与を中止し、正常に戻ってから再投与すること。

【有効期間】

36 カ月

【包 装】

100 mL × 5 本 (ガラスバイアル)  
250 mL × 20 本 (プラスチックボトル)

【製品情報お問い合わせ先】

フジタ製薬株式会社  
〒193-0942 東京都八王子市櫛田町1211  
電話 (042) 661-5528 (代)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

製造販売元



**フジタ製薬株式会社**

東京都品川区上大崎2丁目13番2号  
<http://www.fujita-pharm.co.jp>

**FUJITA PHARM**